

## 世界の切手に見る消防関係の切手(2)

平岩道夫(切手評論家)



写真1



写真2



写真3

前号のアメリカ、イスラエル、オーストリア各国発行の切手に引き続き、本号では“世界の切手に見る消防関係の切手”——“その2”の巻を、お送りしよう。

(写真1) ちょっと見たところ、「えっ、どうしてこれが消防関係の切手なの?」という質問が出そうな切手——。

消防100年にちなんで、オーストリアから発行されたものだが、切手の図案は、よくご覧になればおわかりのように、昔の消防士と、昔と今の消防自動車を描いたもの。切手に描かれているのが“消防士”とはいうものの、「まるで古代の彫刻でも見ているような感じの切手だね」などと、各国の切手収集家の間でも、話題をにぎわせたものの1枚。

(写真2)「まァ、なんと勇ましい、いや男らしいわ。消防士さんにひと目ボレよ」と世の女性どもを感心させたポーランド発行の切手。

切手の図案は、燃えさかる炎に向かって進む勇かな消防士。

余談ながら、切手の下部 POLSKA というのが国名で、ポーランドのこと。



写真4

(写真3) 説明するまでもなく、切手の図案は、逃げおくれた子どもを、ハシゴを使って救助する救急隊員。赤十字マークが強烈な印象をあたえている。つまり、人命救助の様子を描いた切手というわけ。

左端に見られるタテ書きの文字 HELVETIA というのが国名で、スイスのこと。

(写真4) 炎の中で助けを求める子どもを描いたショッキングな切手。これほどズバリと表現した切手は、世界でもあまり前例がないといわれている。

POLSKA——つまりポーランドから発行された切手の1枚というわけだ。

「せめて日本でも、強烈な印象を与える図案の切手を発行してくれれば、消防関係のPRに役立つのになァ」という声が少なくないことを、付記しておきたい。